

小笠原諸島世界自然遺産候補地地域連絡会議

(第1回) 議事要旨

会議の日時・場所

開催日時：平成18年11月22日(水) 14:30～15:50

場所：小笠原村地域福祉センター 2階大会議室

議事要旨

1. 開会

議事進行を事務局長(関東地方環境事務所長)の代行として中山首席自然保護官(環境省小笠原自然保護官事務所)が行う旨、了承を得た。

挨拶

- ・河岡自然遺産保全調整官(林野庁関東森林管理局計画部)による挨拶
- ・小川副参事(東京都環境局自然環境部)による挨拶

出席者の出欠、変更等

- ・東京都 : 江川参事(総務局、農協漁協指導担当・小笠原在勤)を出席者とし

て追加

- ・小笠原ホエールウォッチング協会 : 筒井会長が欠席(森事務局長は出席)
- ・小笠原漁業協同組合 : 菊池組合長が欠席し稲垣参事が代理出席
- ・東京都島しょ農業協同組合 : 大澤理事が欠席

議事の公開について

- ・事務局(中山首席自然保護官)より、小笠原諸島世界自然遺産候補地地域連絡会議を公開とし、配付資料、議事の概要についても会議後に公開する旨の提案がな

され、了承された。

2. 地域連絡会議の設置について

事務局（中山首席自然保護官）による資料1、資料2、資料3に関する説明。

- ・中山首席自然保護官より、小笠原諸島世界自然遺産候補地地域連絡会議の設置について意見照会がなされた。異議はなく、地域連絡会議設置要項（資料2）については、会議の当日、平成18年11月22日づけで施行とすることで了承された。
- ・科学委員会について報告があった。地域連絡会議と科学委員会の関係についても説明があり、異議はなかった。

3. 報告事項

世界自然遺産としての価値について

環境省（柳川自然保護官）による資料5に関する説明。以下の質疑応答がなされた。

- ・東京都の天然記念物にも指定されている南島の沈水カルスト地形は、世界自然遺産のクライテリア「（ ）自然景観」には相当しないのか？

沈水カルスト地形は、南島より規模が大きいものが世界自然遺産として既に登録されており、また、世界的に見るとそれほど特異なものでもないため、遺産のクライテリアには適合しないと考えている。しかしながら、自然の保護上あくまで貴重なものであることは変わるものではない。

- ・モロイ氏による小笠原視察のコメントは、IUCNの公式見解ではなく、個人的なものということか？

そのとおりである。しかし、モロイ氏の実績を鑑みると遺産推薦に向けて意

味のある発言であろう。

小笠原の自然環境の保全と再生に関する基本計画（案）について

環境省（柳川自然保護官）による資料6に関する説明。本日配布のみの基本計画本文について、地域連絡会議参画各機関・団体からも、後日ご意見をいただきたい旨、環境省から追加説明があった。以下の質疑応答がなされた。

- ・小笠原の自然環境を保全しつつ農業を展開するにあたって、両者の立場で議論を行う場が存在していないために問題が生じている。例えば、小笠原では、セイヨウミツバチを利用した養蜂が営まれているが、セイヨウミツバチが在来のハナバチの生息を圧迫しているとの記載があり、養蜂家は活動の継続ができるのか心配している。

住民の様々な疑問や問題点については、この地域連絡会議や、住民への説明会、その他の普及啓発活動などにより答えていく必要があると考えている。

森林生態系保護地域の設定について

林野庁（河岡自然遺産保全調整官）による資料7に関する説明。以下の質疑応答がなされた。

- ・森林生態系の保全について一定の見識を備えたものとして、例えば自然ガイドとされているが、ここでいう「自然ガイド」とは何を指しているのか？

具体的には、平成19年度より設置する「保全管理委員会（仮称）」にて定めることになる。現段階では、現在ある東京都自然ガイドは南島と母島石門に限られたガイドではあるがこれを活用するとか、異なる方法を考えるとか、いろいろな選択肢を検討することが必要と考えている。

行政機関による関係事業の実施について

環境省（柳川自然保護官）、林野庁（河岡自然遺産保全調整官）、東京都（佐藤小笠原支庁副参事）による事業の説明（資料8）。質疑、意見は特になし。

4．今後のスケジュール

事務局（中山首席自然保護官）により今後のスケジュール（資料4）について説明。

以下の意見、質疑応答があった他、特段の意見はなく、了承された。

- ・平成19年1月に開催予定の第2回会議の議題は何か？

今後開催予定の小笠原諸島世界自然遺産候補地科学委員会の結果を受けて、

もし可能であれば、今後の暫定リストの提出についてご議論頂きたい。

- ・今後の会議では資料の事前配布をお願いしたい。

可能な限り対応したい。

5．閉会挨拶

- ・松山助役（小笠原村）による挨拶